

連携事例・活用事例報告

写真原板データベースとジャパンサーチの連携

公益社団法人日本写真家協会 日本写真保存センター 調査員 河原健一郎



## 日本写真保存センター概要

- 公益社団法人日本写真家協会(JPS)が、文化庁の委嘱を受けて運営。
- 写真原板(写真フィルム・ガラス乾板)を劣化と散逸の危機から救い、後世に伝えるため、写真原板のアーカイブ化を行っている。
- 資料群83件、ホルダー約34万本の写真原板を収集。
- 2001年：JPS会長 田沼武能が社団法人設立祝賀会で物故写真家の写真原板保存の必要性を提唱、協会内に設立基金を設ける。
- 2007年：文化庁委嘱事業「我が国の写真フィルムの保存・活用に関する調査研究」
- 2011年：文化庁委嘱事業「文化関係資料のアーカイブ化に関する調査研究」
- 2016年12月：「写真原板データベース」の公開を開始。
- 2019年10月：ジャパンサーチとの連携を開始。

# 写真原板データベース

公益社団法人日本写真家協会 日本写真保存センター 写真原板データベース

掲載写真のご利用について 日本写真保存センター 撮影者・団体紹介 写真掲載媒体紹介 ヘルプ/ヒント

◆画像検索

撮影者・団体名  [撮影者・団体一覧](#) 撮影年代  ~   
写真掲載媒体名  [写真掲載媒体一覧](#) 撮影地 国  地域

◆カテゴリ検索

風景  建造物  産業  交通  工芸・芸術  動植物・自然  人物  社会・文化・風俗  事件・災害・戦争

◆キーワード検索

◆表示順 撮影年： 昇順  降順

掲載写真のご利用を希望の方は、写真原板データベース「[掲載写真のご利用について](#)」をご覧ください。



<http://photo-archive.jp/database/>

1900年代～2010年代に撮影された  
約2万2千点を公開中

記述メタデータは新聞、雑誌、写真集に  
記載された情報を基本としている。

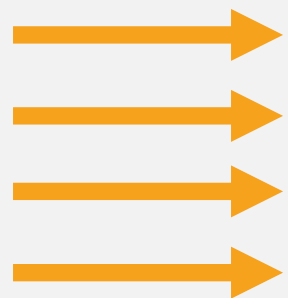
- ・ 撮影者、団体名
- ・ 掲載書誌情報
- ・ 撮影年代
- ・ 撮影場所(国 地方 都道府県)
- ・ 被写体カテゴリー
- ・ フリーワードで検索が可能

## ジャパンサーチとの連携手続き・連携実務

- 2019年2月 twitterでジャパンサーチに関する情報を入手、連携を検討
  - 3月中旬 企画書を作成、写真家協会内部で打ち合わせ
  - 4月末 連携依頼提出
  - 6月 連携許諾
  - 10月11日 連携開始
- 
- 連携実作業に要した日数：計12日
  - 予備調査・内部説明用資料作成、メタデータ仕様決定→3日
  - メタデータ変換、アップロード→6日
  - 写真原板DBを外部サイトからのアクセスに対応→3日  
(凸版印刷株式会社へ依頼)

# 連携データの作成手順

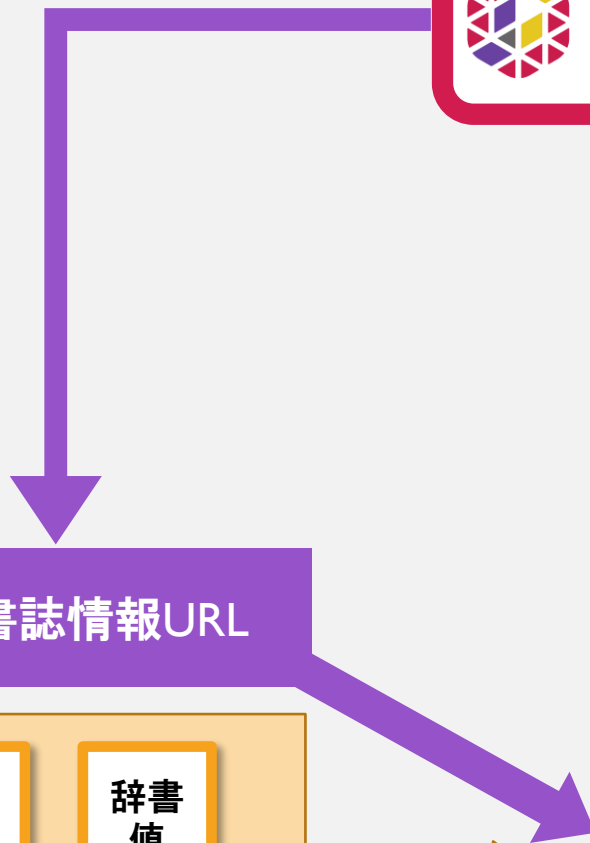
書誌情報には、全国書誌や国立国会図書館デジタルコレクションなど、ジャパンサーチで公開されている書誌情報へのリンクを付与。正確な書誌情報やデジタル化された紙面へのアクセスを容易にし、連携データ間の流動性を高める試み。



書誌情報	辞書値
基本情報	撮影者名

テーブルごとにCSVを出力

掲載書誌情報URL



ラベル定義

アップロード



エクセルで統合・変換

# 書誌データリンクの例

腕は飛沫をあげて  
うではひまつをあげて

掲載媒体1URI  
[https://jpsearch.go.jp/item/najda-4KPXUj2vHwZgTbRQT01qSZWMI3gGF4QJHROb\\_0010](https://jpsearch.go.jp/item/najda-4KPXUj2vHwZgTbRQT01qSZWMI3gGF4QJHROb_0010)

## 掲載媒体情報

掲載媒体1  
写真週報第10号, 内閣情報部, 1938, 内閣情報部(表紙)

掲載タイトル・キャプション1  
腕は飛沫をあげて

掲載タイトル・キャプション1(かな)  
うではひまつをあげて

掲載媒体1URI  
[https://jpsearch.go.jp/item/najda-4KPXUj2vHwZgTbRQT01qSZWMI3gGF4QJHROb\\_0010](https://jpsearch.go.jp/item/najda-4KPXUj2vHwZgTbRQT01qSZWMI3gGF4QJHROb_0010)

## 書誌情報へのリンク

写真週報 10号 昭和13年4月20号

書誌情報

タイトル  
写真週報 10号 昭和13年4月20号

レファレンスコード  
ヨ3110-0116-0010

作成者名称  
編者:内閣情報部

種別  
3.件名.02:内閣文庫,内閣文庫[Cabinet Library] > 和書[Japanese Books and Classics] > 和書(多聞徳文書を除く)[Japanese Books and Classics(except Tamon Yagura Monjo)] > 写真週報

URL  
<http://www.digital.archives.go.jp/item/3693884>

ISSN  
<http://www.digital.archives.go.jp/file/3145799>

コンテンツ種別  
image

紙面データ

## 連携メタデータの内容

- コマ番号 (ID)
- 名称・かな・英文
- 撮影者名
- 撮影年月日
- 撮影地 国名 都道府県  
詳細
- 撮影地 座標
- 掲載媒体名
- 掲載タイトルキャプション・かな・英文・URI
- 資料種別
- 原板種別
- 原板サイズ
- 備考
- 原資料のURL
- 代表画像URL
- 所蔵
- 所蔵機関URI



# ギャラリー機能の活用(1)

ギャラリー

**『写真週報』掲載写真と関連資料で見る戦時下の子どもたち 2**  
『写真週報』は、1938年から1945年まで内閣情報部・内閣情報局によって発行された週刊グラフ誌です。このギャラリーでは、1940年から1941年に刊行された『写真週報』に掲載された子どもたちのイメージをテーマに、使用された写真原板(フィルム)と関連資料とを合わせてご紹介いたします。



[jpsearch.go.jp/database/photo](http://jpsearch.go.jp/database/photo)

ジャパンサーチ「写真原板データベース」データベースページより

「ギャラリー」は、公開資料を様々な切り口で紹介できる便利な機能。  
7つのギャラリーを作成済。(2022年8月現在)



# ギャラリー機能の活用(2)

保存センターで作成したギャラリーの一覧

1. [『写真週報』掲載写真と関連資料で見る戦時下の子供たち](#) (2021, 12)

1938～39までの子供たちのイメージを入口として、写真原板と紙面イメージ、一部、公文書、音声などを並べた。

2. [ウィンタースポーツ](#) (2022, 1)

1. がやや堅かったなので、柔らかい切り口で作成。スポーツイベントも意識。(伸びず)

3. [岩波写真文庫 250 青森県 一新風土記一](#) (2022, 3)

2. を受け、再び堅いものを。本文からの引用を主体とした。青森県史デジタルアーカイブスへのリンクも。

4. [素顔の首相](#) (2022, 4)

ポートレートへのアクセス数が多いので、周辺資料が多そうな首相経験者で構成。検索可能な関連資料を人物ごとに掲載。

5. [空中写真で見る 変わりゆく東京の風景](#) (2022, 6)

そろそろカラーを… 公式ウェブサイトや現在の航空写真、ジャパンサーチの関連資料(現代より)を掲載。

6. [岩波写真文庫 247 徳島県 一新風土記一](#) (2022, 7)

文庫へのアクセス数が好調だったので写真文庫パート2。セクションごとに関連資料を提示。

7. [『写真週報』掲載写真と関連資料で見る戦時下の子供たち 2](#) (2022, 8)

1. のアクセスが好調だったのでpart2。1940～41年。写真原板と紙面イメージ、細かく関連資料を掲載。

## ギャラリー機能の活用(3)

### 現在のギャラリー作成方針

- ・ 通常業務との兼ね合いもあり、大作は作らず… (作れず…)

アクセス状況や暦、イベント等とも関連させてシリーズ化を検討。

- ・ 収蔵資料だけではなく、ジャパンサーチやweb上の情報資源と組み合わせて提示

ギャラリーの閲覧を通じて、閲覧者がジャパンサーチのページ内を回遊し、新たな資料と出会うきっかけが作れたら…

- ・ 親しみを持って、興味深く閲覧してもらえるようなギャラリーが作れるよう、検討を続けたい。

# まとめ(1)

- ・ **ジャパンサーチと連携するメリット**

「写真原板データベース」のような知名度の低いデータベースにとって…

**○公開資料の発見可能性を高める点において非常にメリットが大きい。**

**○DBへのアクセス数が向上する**

- ・ ジャパンサーチからの流入およびSNSでの共有などにより、

**写真原板データベースの閲覧数が3倍**となった (2018年度・2021年度のPVを比較)

- ・ さらに、ジャパンサーチ内のビュー数は、「写真原板データベース」サイトを上回る。

2021年度実績で**約2倍**

- ・ 写真原板データベース単体で公開していた時期と比較して、

**PV数は約9倍!** (2018年度写真原板データベースPVと、2021年度写真原板データベースPV + ジャパンサーチPVの比較)

## まとめ(2)

- **ギャラリーは、公開資料を様々な切り口で紹介できる非常に便利な機能。**

写真原板資料を見ていただく事は勿論…

ギャラリーをきっかけとして、ジャパンサーチのページ内を沢山回遊してもらえると良い。

所蔵資料を紹介する新たな手段として、活用の拡がりに期待したい。

- **限界が盛り上がっている感が、もっと出ると良いですね…**

SNS、特にtwitterなどでの資料の共有や、それらに対するリアクションが「散見」される。

例えば、「jpsearch.go.jp/item/」などで検索すると、個人アカウントによる積極的な資料の共有も見られる。

資料と出会った喜びや、褒めのコメントも多い…(しかし流れて行ってしまう…モッタイナイ)

ジャパンサーチで検索可能な資料や、活用方法の紹介等を中心とした、

情報共有や交流の場と機会ができれば…

デジタルアーカイブが、「日常」となり

多くの個人に反映して作用する未来を形づけるために、今後も連携を続けたい。

ご清聴ありがとうございました。